

AV情報スクランブル

Audio Visual Information

10月 Scramble

主要記事

平成13年度予算 視聴覚教育メディア関係概算要求について
平成12年度関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会 長野大会
第26回全日本教育工学研究協議会全国大会 / 第14回コンピュータ教

育研究協議会全国大会 / 第6回全日本情報教育研究協議会全国大会
第1回「スクールサウンドフェスタ2000」開催
「2000年ICEMメディアデイズ」に4作品が出品

文部省情報

平成一三年度予算

視聴覚教育メディア関係概算要求について

平成一三年一月の省庁再編に伴い、文部省生涯学習局学習情報課は学習情報政策課となり、「教育スポーツ及び文化に係る情報通信の技術の活用に関する企画立案等」を担当することになる。したがって、平成一三年度概算要求においては、既存の事業経費をも細かく見直しての要求となった。

「衛星通信を活用して大学の公開講座を広く全国に提供する総合システムを構築するための調査研究」

多くの大学の公開講座を衛星通信の活用によって全国の公民館等に配信する総合的なシステムの在り方(組織、財政、管理、運営等)に関する調査研究を行う。

「学習資源デジタル化・ネットワーク化推進事業」

学校教育用コンテンツの開発のため、教員のニーズに対応した学習資源のデジタル・アーカイブ化と活用の促進について、全国に普

及すべき手法の研究開発を行う。

「衛星通信利用による子どもも放送局推進事業」

全国各地の公民館、図書館等の受信先の子どもたちに、参加体験型の番組を提供するとともに、エール・ネットの高度化を推進するための実証的な調査研究(オープンカレッジ等)を実施する。

「まなびねつとシステム整備事業」

利用者の多様なニーズに対応するため、より広い範囲から情報収集し提供するための検索システムなどポータルサイトとしてのまなびねつとの調査研究を引き続き行う。

「情報リテラシー育成研究指導」

人々の情報リテラシーの育成やマルチメディアの教育利用のための指導資料の作成等を引き続き行う。

「マルチメディア時代に向けた情報発信の在り方に関する調査研究開発」

マルチメディアを活用した文教関係情報化推進事例等の調査研究を引き続き行う。

「教育テレビ放送事業」

平成19年度予算 視聴覚教育センター(学習性視聴覚)関係経費要求概

事項	予算額	繰上額	繰下額	備考
視聴覚教材制作費(テレビ番組制作費、録音機材費、編集費、制作費)	344,000	344,000	344,000	新規
視聴覚教材制作費(テレビ番組制作費、録音機材費、編集費、制作費)	300,000	300,000	0	
視聴覚教材制作費(テレビ番組制作費、録音機材費、編集費、制作費)	300,000	300,000	300,000	視聴覚教材制作費
視聴覚教材制作費(テレビ番組制作費、録音機材費、編集費、制作費)	300,000	300,000	300,000	視聴覚教材制作費
視聴覚教材制作費(テレビ番組制作費、録音機材費、編集費、制作費)	1,000	1,000	1,000	視聴覚教材制作費
視聴覚教材制作費(テレビ番組制作費、録音機材費、編集費、制作費)	3,000	3,000	3,000	視聴覚教材制作費
視聴覚教材制作費(テレビ番組制作費、録音機材費、編集費、制作費)	311,000	311,000	0	
視聴覚教材制作費(テレビ番組制作費、録音機材費、編集費、制作費)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	視聴覚教材制作費
視聴覚教材制作費(テレビ番組制作費、録音機材費、編集費、制作費)	300,000	300,000	300,000	視聴覚教材制作費

民間放送局の教育番組の充実向上と放送を通じた家庭教育の充実、青少年の健全育成を図るため、教育テレビ放送番組の企画、制作、放送及び調査研究を行う。

「視聴覚教材等の充実」
教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に広く利用されること
が適当なものを選定するとともに、

特に優れた作品を買い上げて各都道府県・指定都市教育委員会に配布する。

「民間社会教育活動振興費補助金(視聴覚教育関係)」
全国的規模の社会教育団体が行う社会公共的意義のある事業に対して、当該事業に要する経費の一部を補助する。

研究会情報

平成二二年度関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会 長野大会
 関東甲信越地方放送教育研究協議会、関東甲信越学校視聴覚教育連盟他主催による、標記研究大会は、「広い視野を持ち、二一世紀の文化を築く人間の育成をめざして、放送・視聴覚教育および情報教育を推進しよう」を大会主題に長野県松本市において、左記要領で開催される。

1・期日 一〇月二七日(金)
 2・会場
 公開保育・授業 松本市内の幼稚園・保育所二、小学校五、中学校四、高校六
 全体会 長野県松本文化会館
 3・日程
 午前中各園・校において公開保育・授業、分科会別研究会等／一三・五〇全体会場に移動し開会行事／一四・三〇記念講演／一六・〇〇閉会行事
 4・内容
 講演「情報化社会における学校教育の課題」山極隆氏(玉川大学教授)

公開保育・授業 幼保「パネルシアターであそぼっ」他／小学校「クラス紹介番組を作ろう」他／中学校「YAMABEDROOM」から世界へ発信 オーストラリア」他／高校「電子工業科実習」他
 5・問い合わせ
 〒三九〇 八五四三 長野県松本市二一 一 松本県ヶ丘高等学校内「長野県高等学校視聴覚教育研究会事務局」太田喜幸校長 電話〇二六三 三三一 〇三六八
 第二六回全日本教育工学研究協議会全国大会／第一四回コンピュ一タ教育研究協議会全国大会／第六回全日本情報教育研究協議会全国大会 高知大会(二〇〇〇年大会)
 日本教育工学協会では、「広がり!のびのびネットワーク 二一世紀につなぐこれからの教育工学を求めて」を大会主題に、標記全国大会を高知県において開催する。

1・期日
 一〇月二七日(金)・二八日(土)
 2・会場
 公開授業 全一〇校、全体会場

『総合的な学習』の実践研究 小
学校編 / その2 当事者に聞く
我が校の歩み」

財団法人中央教育研究所編、二〇〇
〇年七月刊、B五判、一九八頁、
各一〇〇〇円(税別)

公立校でありながら、先駆的な
取り組みをした四校のいぶきが満ち
あふれた、具体的で実践的な本で
ある。総合的な学習について、ほ
かの学校の仕方を自分の学校にあ
てはめようとするこの危険性を指
摘し、「今までこうだったからとい
う考えには意味がない。」と言いつ
ける所に、研究を積み上げられてき
た確かさがある。

「子どもを他律的・受動的な存在
として見ることを脱して主体的・
能動的な存在として見る」「児童観
の転換の提案は、「もう教材論とか
そういう時代ではない。」という教
師として生きていくか。」という
教師の人生論を含めた意識改革を
前提にしている。教師が「うまく
できなくてはいけない」という考えを
捨てる、子どもたちのよさが分か
ってくる」という主張等に、昭和
二二年の『川口ソラン』の発表か



らかかわってきた中央教育研究所
の先進性が息づいている。

事例校は、山形市立第四小学校、
相模原市立宮上小学校、広島市立
高美が丘小学校、香川県綾南町立
陶小学校の四校であり、内容は
「動機やこれまでの経過、学習テ
ーマや児童の活動の仕方、成果や反
省点」である。特に、時間設定の
問題、教師の意識や指導力の向上
の問題、地域や保護者とのかわ
りなど、紀要などでは記載される
ことの少ない実践校の本音を聞き
出すために、研究所の委員が直接
話を聞く形が取られているため、読
者にとって、またとない資料である。
総合的な学習を立ち上げるために、
各学年同時に取り進む段階の問題
から、さらに、下の学年で課題解決
能力を身につけてきた子どもを前提
にした時の取り組み方についての研
究が待ち望まれる。(吉野 勇次)

夜須町公民館マリンホール、懇
親会 海辺の果樹園、分科会会場
高知工科大学

3・日程

二七日 九：〇〇受付ノ一
〇：〇〇公開授業ノ二二：〇〇昼
食ノ一四：〇〇全体会(基調報告
講演)ノ一八：〇〇〜二〇：〇〇
懇親会

二八日 九：〇〇受付ノ九
三〇研究発表分科会ノ一二：〇〇
昼食ノ一三：三〇〜一六：〇〇研
究発表分科会

4・内容

基調報告「高知県における情報
化の取り組みについて」
講演「情報教育にかける夢」橋
本大二郎氏(高知県知事)
公開授業「小学校四、中学校三、
高校二、養護学校一」

分科会「総合的な学習の時間、
情報環境と学習、表現ツールとし
てのコンピュータ、ネットワーク
の教育利用他」

5・問い合わせ

〒七八一 五一〇三 高知県高
知市大津乙二五〇〇 二 土佐女
子短期大学内 全日本教育工学研
究協議会高知大会事務局 ファッ

クス〇八八 八六六 九二二一
メール k2000@edunetkochi.gr.jp
http://www2.edunet-kochi.gr.jp/
k2000/

コンクール情報

第一回「スクールサウンドフェ
スタ2000」開催

現代教育新聞社、全日本電子楽
器教育研究会コンピュータ部会
により、子どもたちが感性豊かに
伸び伸びと成長する学校教育(活
動)の在り方を求めて標記コンク
ールを開催する。

1・応募資格

小学生・中学生の部は、グルー
プ・クラス等の団体に応募するこ
と。教職員の部は個人・団体を問
わない。

2・応募作品

パソコンや楽器・機器、インタ
ーネット等のメディアを利用して
音や映像を盛り込んだ作品。

3・評価基準

アイデアやオリジナリティ、協
同作業・協調性、効果的な活用

4・応募締め切り 一〇月三十一日

5・問い合わせ

〒103 0015 東京都
中央区日本橋箱崎町一九三〇 箱
崎町ビル スクールサウンドフェ
スタ2000事務局 電話〇三
五六四五 五三一一 [http://
www.gendai-edu.com/](http://www.gendai-edu.com/)

「二〇〇〇年I C E Mメディア
デイズ」に四作品が出品

I C E M主催(国際教育メデ
ア協議会)による標記見本市メデ
イアデイズは、名称を今年から変
更して(旧称・メディアウィーク)
一月一日〜五日にかけてス
イスのジュネーブにおいて開催さ
れる。この見本市は、世界中から
教材用フィルム、ビデオ、レーザ
ーディスク、コンピュータソフト
等を一堂に介して行うものであり、
昨年はスロベニアのリュブリャー
ナにおいて一〇月に開催され、日
本からは三作品が出品された。

今年の日本からの出品作品は、
九月四日、日本視聴覚教育協会会
議室において開催された選考委員
会において次の四作品の出品が決
まった。

「はとよ ひろしまの空を

(Story of a Hiroshima Pigeon)』
東映 二二分 ビデオ(英語字幕
版)

「NHK 日本語講座 にほん
ごびくらすう(家を借りる/災害
訓練/結婚式) Getting Along in
Japanese Renting a House /
Disaster Drill / Wedding
Ceremony」 NHKエデュケーシ
ヨナル 各二五分ビデオ(英語版)

(株)紀伊國屋書店映像情報部
は、下記住所へ移転した。

〒150 八五二三 東京都渋谷
区東三 一三 一 電話〇三

五四六九 五九一七

(社)日本映画テレビ技術協会
は下記住所に移転した。

〒104 〇〇六一 東京都中

央区銀座二 一五 二 東急銀座

ビル三階 電話〇三 三五五四

六六七五

仙台市視聴覚教材センターは、
九月三〇日をもって閉館。センタ

ーのライブラリー機能をはじめ大
半の業務は、平成一三年一月末開
館予定の「せんだいメディアター
ク」に移行する。